

平成26年度 甲賀市決算

「理想郷こうか」の実現をめざして、平成26年度に行った
主な事業を4つの重点テーマとにご紹介します。(繰越事業含む)

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし

①セーフコミュニティ推進事業

745万円

WHOセーフコミュニティ協働センターが推奨する「けがや事故等は偶然の結果ではなく予防できる」という理念に基づくセーフコミュニティ活動の推進にあたり、平成26年度は5月の事前審査の結果を踏まえて推進協議会・外傷サーベイランス委員会・対策委員会で検討を重ね、取り組みの詳細や成果指標等を決定しました。



①子どもの安全対策委員会で実施した自転車通学体験

②市営住宅寺庄団地建替事業

4億3,945万円

公営住宅等長寿命化計画に基づき、新たに寺庄団地の建て替えを行い、老朽化した市営住宅入居者の移転先および新規募集住宅として30戸の住宅を確保しました。



②市営住宅寺庄団地

③地域情報化基盤整備事業

3億7,745万円

市民の安心・安全な暮らしを守るため、全戸を対象に音声放送端末機を約4,600件設置しました。(累計約15,400件)

④コミュニティバス無料乗車券交付事業

1,370万円

80歳以上の高齢者および障がい者の方に対し、コミュニティバス無料乗車券を交付しました。

⑤災害対策事業

894万円

防災倉庫の非常食と飲料水を更新するとともに、避難所の環境対策として簡易トイレ、毛布等の設備の充実を図りました。また、緊急通信システムの統一化のための検討を行いました。

⑥公園パトロール強化事業

559万円

利用者の安心・安全を図るため、公園パトロール車による巡回点検及び

簡易修繕等を行うとともに、公園施設の状況把握や修繕が必要な箇所のリストを作成し、計画的修繕による維持管理に努めました。



⑥公園施設の定期的な点検作業の様子

⑦高齢者の24時間在宅医療の推進事業

670万円

病気があっても住み慣れた地域で暮らしたいと希望される方に対して、24時間在宅医療を推進するための方向性や体制づくりについて関係機関と検討しました。また、訪問看護や、医療・介護の連携について今後の活動方針を検討しました。

⑧障がい者就労支援事業所の共同受注窓口等の整備事業

270万円

市や企業からの役務等の発注業務を円滑に受注するため、障がい者施設や事業所で構成する「障がい者就労支援部会」を設置し、障がい者の自立を支援しました。

⑨市庁舎整備事業

1億1,120万円

市民サービスの一層の向上と安心・安全のための防災機能の強化、組織運営の効率化などを図るため、新庁舎を整備します。平成26年度は新庁舎建設工事を発注するための「実施設計」を策定しました。

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来

①あいちこうか市民ホール改修事業

9,579万円

文化・芸術の拠点施設であるあいちこうか市民ホールについて、安全・快適に過ごせる劇場空間と舞台演出機能を維持するため、楽屋・練習室等改修工事、舞台照明改修工事を実施しました。

②甲賀市子ども・子育て応援団事業

449万円

子ども・子育て施策の総合的かつ効率的な推進による「こうか子ども子育て応援団」の確実な実現と国制度への的確な対応を図るため、「甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画」を策定しました。

③マタニティ歯科健診事業

79万円

安心して子どもを産むための妊娠期の健康づくりのため、また、生まれてくる子どものむし歯予防のために、妊婦を対象に市内歯科医療機関にて歯科健診と歯科指導を実施しました。

④水口適応指導教室移転事業

4,978万円

施設の老朽化に伴い、利用者の安全を図るため、水口適応指導教室をびわ湖材利用促進事業活用により新築し、平成27年3月末に移転を完了しました。また、この水口教室をセンターとして、甲賀・信楽各サテライト教室の指導員の連携強化を図ることで、不登校等の課題を持つ児童

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力

①甲賀JOBフェア事業

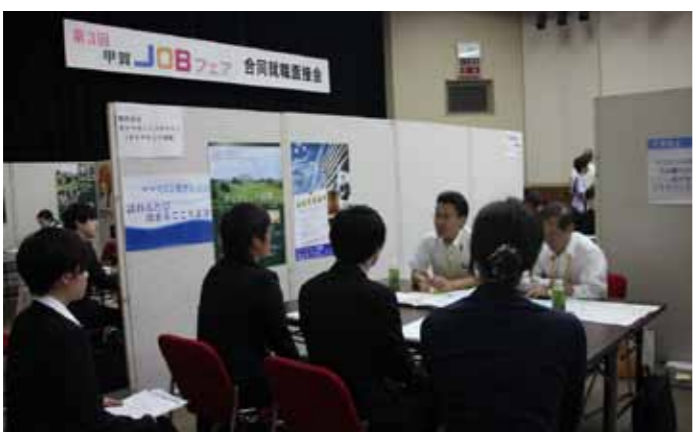
176万円

新規卒業者や若年求職者と市内の企業等との「合同就職面接会」を開催し、正規雇用の拡大や市内の企業等の活性化を図りました。また、障がいのある方を対象とした面接会を開催し、障がい者雇用の推進に取り組みました。

②農業後継者総合支援事業

908万円

意欲ある農業後継者を確保し、新たな担い手を育成するため、認定農業者や集落営農組織新規就農者の支援に努めるとともに、耕作条件不利地である中山間地域での農業機械導入助成など市独自制度を設け、きめ細かい支援を行いました。



①碧水ホールにて開催された合同就職面接会